

児童発達支援に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和5年 1月 27日

事業所名：feel西明石

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	【各部屋の使用状況】療育スペースの確保と密を避けるためご利用人数によっては1階も使用し分かれて療育を行っています。必要に応じて部屋の戸を閉めたり、パーティションで区切ったりと個別療育時に集中しやすい環境やクールダウン出来る場所を整えています。必要のない時は広い空間で過ごせるように配慮しております。 【安全面への配慮】フローリングの上にジョイントマットを敷き、背の高い家具には転倒防止の伸縮棒を設置しています。運動などの動きがある活動をする時には、机を移動させ、広くしてから活動することで、安全面に配慮をしています。	はい78.3% どちらともいえない13% いいえ わからない8.3% ・見学に行った際には利用者がいなかったでずし、普段何人くらい利用されてどのようにな部屋を使っているのかは見たことがないのでわからない。 ・午後にたくさんいたりする日があり、偏りがあり、圧迫感が疲れてしまうことがありました。 ・一度、見学に行かせて頂いた時は狭いように感じましたが身長の子供達にとっては充分なかもしれません。 ・1階も使われているとのことで実質、拡張になっているのでとても良いと思います。	引き続き、活動(個別、運動あそび、ことば音楽、余暇活動等)によって部屋を分けることで、活動やきりかえがしやすくなるように努めていきます。 今後、LINE等でお子さまの写真や動画を保護者の方にお送りしようと考えています。またブログやInstagramのお写真を見ていただけましたらお部屋の雰囲気をご確認していただけると幸いです。
	2 職員の適切な配置	【定員】一日の定員は10名までになっています。職員は、常時5名以上配置されています。 【専門性】スタッフは全員が有資格者です(保育士、臨床心理士、公認心理師、教員免許、児童指導員等)。スタッフの資格や経歴、好きなことを玄関の掲示やホームページにてお知らせしています。今後も、スタッフの専門性を活かした療育内容(カウンセリング、制作、身辺自立等)を計画していきたいと思ひます。 【カウンセリング】カウンセリングやプレイセラピーが必要な場合は臨床心理士や公認心理師の有資格者または受験資格のあるスタッフが対応するようにしています。	はい91.3% どちらともいえない4.3% いいえ わからない4.3% ・どなたがどんな資格を持つてるか名札などで分かったら子供のことを相談しやすくていいなあと思ひます。 ・手厚い配置にいつも感謝しています。お若い方も多く、ベテランの方々もお優しくて明るいので子供も楽しいようです。	・保護者の方のご意見から、今後支援員が付けている名札に資格を記入することになりました。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・玄関等の段差については借家のため改修が難しく、ご不便をおかけしております。 ・お子さんへの分かりやすい支援として、特性に応じて、絵カード等の視覚支援やICT(パソコン・タブレット)の活用、スケジュール化等を行っています。 ・おやつを選ぶ時には操作できるレプリカの硬貨を活用したり、体調や気分を指差して表現できるようにバロメーターの表を掲示するなどの視覚支援を行っています。 ・課題の後にごほうびのシールやお子さんの好きな玩具等を準備することで、達成感を感じていただけるよう工夫しています。 ・プログラム活動時に、見通しが持てるように事前予告の声かけを行ったり、タイマーを使用して切り替えのタイミングをわかりやすくしたりしています。また、定期的にタイマーを鳴らすことで、こまめに水分補給を促すことができ感染予防につながっています。 ・玩具の棚は片付けやすいように写真を貼って、どこへ片付けるかお子さんにとってわかりやすくしています。	はい91.3% どちらともいえない8.7% いいえ わからない ・1軒屋の構造なのである程度は致し方ないと思ひます。 ・普段は靴の名札辺りしか見れませんが、そこからでも充分に工夫して下さっていることが窺い知れます。	今後もお子さんの特性に応じて、教材や環境を調整し、継続して取り組んでいきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・熱中症や脱水を起さないように、一年を通して活動の合間にお子さんに水分補給を促しています。 ・また、感染症予防のために一年を通して常時換気をしています(猛暑日等は30分に一度換気)。 ・おやつのはきは使うたびにアルコール除菌を行ったり、よく使うものや触るもの(ドアノブなど)に毎日アルコール消毒をしたりしています。また、おやつ前とおやつ後は手洗い、アルコール消毒を徹底しています。 ・加湿器を置き、風邪やウィルス感染の予防につなげています。 ・毎日療育後は午前・午後ともに掃除機とアルコールでの床拭きによる清掃を行い、教材や玩具のアルコール消毒をおこなっております。	はい95.7% どちらともいえない4.3% いいえ わからない ・他の施設では入室時の検温、アルコール消毒の徹底をされているところもありますがもうそこまでなくても・と思ひます。 ・厳しすぎず、手を抜かずのfeelさんの衛生環境設計はちょうど良いです。 ・午前、午後のトイレ掃除は本当に感謝の思い一杯です。ありがとうございます!	お子さんが清潔で心地よく安心して過ごせるように、継続して掃除や環境を整えていきます。 また、引き続き来所時の手洗いと検温を徹底することで感染予防に繋げていきます。
1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日、職員間での情報共有、目標や行動、プログラムの振り返りを行っています。また月に一回所長会議、管理職会議をする中で現場の声を大切にしながら働きやすい業務改善を考え取り入れ、次の会議で振り返り今後の課題や対応を話し合っています。			継続していきます。
2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	他事業所間での情報共有やプログラム、研修内容等、情報交換しながら業務改善を図っています。			継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
未 務 改 善	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員は、常時5名以上配置されており、全員が有資格者です(保育士、臨床心理士、公認心理師、教員免許、児童指導員等)。スタッフの資格や経歴、好きなことを玄関の掲示やホームページにてお知らせしています。スタッフの専門性を高めるために、内部研修を行っています。 内部研修では、WISC-IV知能検査、K式発達検査2020や虐待予防、カウンセリング、アンガーマネジメント、カウンセリングの事例等を題材にして行っています。外部研修は、障害者福祉やお子さんのメンタルヘルス、関係構築を題材にした研修や、ロールシヤツハ研究会に参加し、日々研鑽しています。		引き続き研修を通して職員の資質の向上のために研鑽したいと思っています。2023年度は、WISC-V知能検査、K式発達検査2020、虐待予防、カウンセリング、継次処理と同時処理、カウンセリング、就学相談、ICTを活用した学習方法を題材にした内部研修を考えております。
適 切 な 支 援 の 提 供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・太田ステージ評価や質問-応答関係検査、新版K式発達検査2020、WISC-IV知能検査、行動観察、保護者の方からの聞き取り等の多角的な視点からアセスメントを行い、支援計画を作成しています。 ・保護者の方の願いに即して作成させていただいています。	はい87% どちらともいえない4.3% いいえ わからない8.7% ・どの担当の方が失念してしまいましたが、私が未熟だったこともあり、あまりにザッと目標の説明だけをされて分らなかったこともありました。	上記で記載したように療育の姿を実際に写真や動画で見いただくことで支援計画の作成ポイントが分かりやすくなるのではないかと思います。引き続きモニタリング時に保護者の方からの聞き取りを丁寧に行っていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団活動である内容を個別の中で伝えたり実際にやってみたりすることで安心して集団活動にとりくめるようにしています。また個別でしている内容を集団活動に取り入れることで、個別と集団活動が連動するような計画も行っています。		継続していきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	短期目標では1ヶ月~6か月でお子さんが達成できそうな項目にポイントをしぼり、普段の様子や保護者の方の聞き取り等を参考に具体的な支援を検討しています。支援目標を達成するために、具体的にどのような働きかけが必要かについて記載し、作成させていただいています。	はい91.3% どちらともいえない8.7% いいえ わからない	継続していきます。
適 切 な 支 援 の 提 供 ( 続 き )	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に沿って日々の活動内容を検討し、支援計画以外でも必要と感じる項目は、保護者の方や職員間で相談しながら療育に入れるようにしています。	はい91.3% どちらともいえない8.7% いいえ わからない	継続していきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	SST・制作・運動のプログラムは数名のスタッフで順番に立案しています。立案したものを実際に支援員がしてみたり、ミーティングの中で協議したりしています。また他事業所とも共有することで様々なアイデアを取り入れ固定化しないように努めています。		継続していきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・降園後に利用される平日は、本人の気持ちや体調等に応じて個別療育や余暇など活動する順番を考慮しています。 ・長期休暇時には玩具の制作等、普段しない活動を取り入れることで楽しみながら課題に取り組めるようにプログラムを考えています。 ・長期休暇中はご希望に応じて、生活習慣が変わることが苦手な午後利用のお子さんに、午前にご利用していただくなど、お子さんの特性に応じて柔軟に対応をしています。		継続していきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	小集団活動では、週や月でプログラムを立て直しことば音楽・運動・SST・制作活動を行っております。また長期休暇時には氷あそび等、いつもとは違う療育をしています。個別療育では、お子さまの理解度や興味のあることなどを取り入れたり、本人・保護者さまからのニーズをお聞きしたりしながら内容を考えています。また計画したプログラムでもその日の子どもの様子に合わせて柔軟にアレンジして参加しやすくしています。	はい73.9% どちらともいえない8.7% いいえ わからない17.4 ・年齢的にまだ小集団活動はしていないかも？ ・毎回、趣向を凝らした宿題も出して下さって嬉しです。	引き続き継続したプログラム(ことば音楽・運動遊び)を取り入れることで、出来ないことができるようになって自信に繋がるようになっていきます。また年齢やお子さんの特性を見て、繰り返しの大切さと固定化しない新鮮さを意識して実施していきます。午前中のお子さんは人数が少ないですが、2人以上のご利用があれば玩具の貸し借りや運動遊びなどお子さんたちのご様子に合わせた小集団活動を実施しています。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	新しいプログラムが始まる時は各プログラムの教示方法や注意点についてスタッフでロールプレーをしたり話し合いをしたりして、プログラムのイメージがしやすいように工夫しています。個別療育で使う席の配置や小集団活動でのプログラムの役割分担についてはその日その日の子どもたちの様子で事前に話し合い決めております。		継続していきます。
9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	小集団活動での取り組みについてのチェックリストや実施記録表の活用を行い、スタッフ間での共有を行っています。		継続していきます。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個別、小集団療育ともに保管用の記録と保護者向けのスケジュールを書いています。ミーティングを通して、気になったことやよかった支援などを話し、よかった支援はスタッフで共有して継続しています。また、家庭や関係機関とのお話の中で、より細かなお子さまの状況を教えていただくことで、より多角的な面から検証することができます。		継続していきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	ミーティングの中で計画の見直しをし、1～6ヶ月に一度はモニタリングを行っています。		継続していきます。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	日程調整ができた時には、児童発達支援管理責任者、個別担当が出席し、情報共有や役割分担について話し合っています。		継続していきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的ケアが必要な子どもの方はご利用されていませんが、保護者のご要望に応じて保健、医療、障害福祉、学校との情報共有や支援会議を実施しています。		継続していきます。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療的ケアが必要な子どもの方はご利用されていませんが、お子さまが通院している病院との連携のため主治医からのアドバイスを参考にさせていただいたり、協力医療機関(あだちこども診療所:加古川)と情報共有をさせていただいています。		継続していきます。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	お子さんが通われている保育所や幼稚園等の担任の先生と必要に応じて支援方針や対応について情報共有させていただいたり、訪問活動を通じてより細かな移行支援につなげたりできるように働きかけています。		継続していきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	卒業後に、障害福祉サービス事業所をご利用の方がこれまでにおられなかったのですが、今後もしご利用の方がおられましたら必要に応じて情報共有ができましたらと思っています。		継続していきます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	各スタッフが学会や社会福祉協議会、兵庫県や明石市主催の研修を受けています。		継続していきます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	今年度はコロナの件もあり交流する機会がありませんでした。	はい26.1% どちらともいえない39.1% いいえ17.4% わからない17.4%	今後活動できる機会がありましたら検討したいと思っています。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	今のところ考えていません。		
保護者	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	最初の契約時に、支援計画の説明、利用者負担等についてご説明しています。	はい95.7% どちらともいえない4.3% いいえ わからない ・制度的に分からないところがあっても丁寧に説明頂き、勉強になります。	継続していきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画の書類を提示しながら、支援目標や支援方法についてご説明させていただき、その中で成長していることや気になること等について保護者と情報共有したり、対応についてのアドバイスをさせていただいたりしています。	はい82.6% どちらともいえない8.7% いいえ4.3% わからない4.3% ・よく相談にのっていただいています。 ・今は電話対応が基本なのでなかなか細かいところまでは難しいかと思いますが、Zoom等でもお話し出来ればいいなと思います。	感染防止の観点から保護者の方との面談は主にお電話で実施させていただいておりましたが、次回からは電話、Zoom、直接の中から選んでいただき保護者の方が希望される面談方法で実施していきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者向けに学期ごとに1回、年度内計3回のペアレントトレーニングの研修をさせていただくことで将来を考えるきっかけになったり、保育所などの関係機関との話し合いの仕方などを学んだりする機会に繋がるようにしています。今年度は1学期にストレスサイン、2学期にアンガーマネジメントについて研修を行いました。3学期にも生活習慣動作の身につけ方についてのペアレントトレーニングを実施予定です。	はい69.6% どちらともいえない17.4% いいえ わからない13%	できるだけたくさんの方が参加しやすい日程での実施を考え、早めに日程をご案内できるようにしていきたいと思っています。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	個別療育での状況や課題はファイルに記入してお伝えしております。保護者の方から質問などがある場合はファイルに記入したりお時間を頂きお話しさせて頂いております。	はい91.3% どちらともいえない8.7% いいえ わからない ・連絡帳にわかりやすく書かれています。	継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
口への説明責・連携支援	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	随時、気になることや嬉しかったことがあった場合はこちらからも保護者の方に声をかけて成功の追及をしています。 駐車場の関係で送迎時にゆっくりお話しが出来ないため必要に応じては相談できる時間を設けたり、希望の方には継続のカウンセリングを行ったりしています。	はい82.6% どちらともいえない8.7% いいえ わからない8.7% ・アドバイスいただいています ・お迎え時に支援員方がとても丁寧に伝えて下さるので感謝しています、分かりやすく安心出来ます(*^^*)	継続していきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	Zoomでのペアレントトレーニング研修後に、保護者交流会を開催しています。	はい56.5% どちらともいえない8.7% いいえ4.3% わからない30.4%	2023年は身辺自立などテーマに沿って進めていく、保護者交流会のみの開催も考えております。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に苦情相談の担当者や事業所外での窓口についても説明しています。	はい60.9% どちらともいえない4.3% いいえ4.3% わからない30.4% 本当によくやって下さっているので感謝の思いしかありません(*^^*) 苦情を言う機会が無いのでなんともし笑	今後も普段から気になったことを相談しやすいような関係づくりを行っていきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	お子さまや保護者の方とお話をする時には、口頭だけではなく、メモやメール等で見て分かる形にしています。また特性に応じて大事な話を先にしたり、何回かに分けて伝えたり1対1でゆっくり話が出来る時間を設けたりしています。	はい100%	継続していきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	活動概要は毎週土曜に玄関掲示とブログにアップしていましたが、2023年1月から毎週末4事業所順番に(そのため各事業所4週に一回)HPとSNSに活動概要をお伝えしています。行事やアンケートがあるときには手紙を配布したり、グーグルフォームでの回答をお願いしたりしています。	はい95.7% どちらともいえない4.3% いいえ わからない ・玄関の掲示物、なかなかじっくり見ることが難しいのが少し残念です。	ご家庭でゆっくり見て頂けるように、Instagramなどにも活動の様子を配信するようになりました。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時の個人情報についてのアンケートをもとに玄関やブログの掲示を考えたり、個人情報は鍵付きの書庫に片付けたりしています。また情報提供に関しては提供して下さったご家族の方の承諾を得てから他の方にお伝えしていきます。スタッフとの雇用契約時に個人情報の秘密保持を厳守しています。	はい100%	引き続き保育所等訪問支援時など外部とお子さんの情報共有をする時は持参する書類の名前に網掛けするなど、個人情報の秘密保持を厳守していきます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時の対応については契約時に説明し、防犯についてはSSTの中で不審者対応を行ったりしています。感染症についてはマニュアルにもとづいて対応を考えており職員間で役割を決め消毒などの確認を毎月行っております。また各マニュアルはどなた様にも閲覧・確認して頂けるよう、ホームページに掲載しています。	はい95.7% どちらともいえない4.3% いいえ わからない	継続していきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	地震・不審者・水害・てんかん発作等への対応と順番に訓練を実施し、避難バックの中に水やお菓子の備蓄をしています。緊急で薬が必要な方は個人ファイルに保管しています。学期ごとにSSTの中で避難訓練(火事・地震・不審者など)も取り組んでおります。活動後はホームページにもアップしております。	はい87% どちらともいえない4.3% いいえ わからない8.7% ・非常カバンまで用意して下さったんですね・本当に時間ありがとうございました!	継続していきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	年に1回以上は、スタッフに虐待防止研修を行っています。また虐待についての外部研修にも参加しております。また年に2回虐待委員会で話し合いを行っております。		継続していきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	半年に一回保護者の方とお話をさせていただき、ご署名をいただいています。また年に2回会議の場を設けて職員の話し合いもおこなっています。		継続していきます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーがあり、指示書が必要な方には記載していただき、薬はすぐに対応できるよう個別ファイルに保管しております。また職員間で共有しリスト化して掲示しています。		継続していきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	お子さまの安全に関係する事等、ミーティングで話し合った後に、ヒヤリハットを作成し、対応策を考えています。またその日欠勤の職員にも伝わるよう回覧板で回しています。また他事業所にも共有することで事業所内だけでなく他のお子さまの安全にもつながる様に努めています。		継続していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
----	--------	-----------------	--------	--------------------

・幼稚園の後なので行く前はしんどいと言っていますが、帰りには楽しかったと笑顔です。  
→お子さんに楽しんで療育に参加していただけるよう、今後も様々なプログラムを考えさせていただき、お子さんの成長の過程を、ご本人、ご家族の方と一緒に歩んでいきたいと思いをします。

・いつもありがとうございます。子供も楽しく通所して刺激を受けているようです。  
これからよろしくお願ひいたします!  
何か協力出来ることがあれば仰って下さいね(\*^^\*)  
→保護者の方にいつもご理解、ご協力していただいているおかげでお子さんも楽しく通所してくださっていることに、心より感謝しております。これからもよろしくお願ひします。

・いつもご相談に乗っていただいたり、保育園とも連携して、細やかに連絡を下さったりして、他の親御さんと相談する機会の少ない親自身の心の安心にもつながっています。  
お忙しい中色々に対応していただきありがとうございます。  
あと少しの期間ですが、どうぞ宜しくお願ひ致します。  
→幼児期の成長は日に日に違ふためそのことを保護者の方に伝えて一緒に喜ぶ事を嬉しく思っています。また保護者の方の気持ちに寄り添い、少しでも保護者の方のお力になれるように考えています。